

光技術応用の新ビジネス創出を支援「Photonics Challenge 2027」開催
大手製造業・VC・金融機関など約 30 の支援機関とのネットワーキングを強化、
10 月 20 日から募集開始

2026 年 10 月 20 日
学校法人 光産業創成大学院大学
学長 石井 勝弘

本学は、光技術を応用した新ビジネス創出を支援する「Photonics Challenge（フォトニクス チャレンジ）2027」を開催します。本ビジネスコンテストは、スタートアップ・中小企業や学生を対象に、独創的な事業計画を募集・表彰し、意欲的な人材を発掘するものです。

書類選考を通過したファイナリストには本学教員によるメンタリングでビジネスプランを磨く機会を提供するほか、大手製造業・VC・金融機関などとの交流機会を提供し、事業化や事業成長を支援します。10 月 20 日（火）から募集を開始し、7 月 14 日（水）に最終審査会を実施します。

◆光産業創成大学院大学と Photonics Challenge

本学は 2005 年 4 月に開学した大学院大学で、光技術を応用した新産業創出を目指す人材を育成するため、技術開発や事業開拓を目指す学生に光技術や経営に関する専門的知見を提供し、教員の伴走による実践教育を行っています。

光技術を応用した新ビジネス創出に取り組む意欲的な人材を発掘するため、2019 年度よりスタートアップや中小企業を対象としたビジネスコンテストである Photonics Challenge を開催し、これまでにその受賞者の中から数社が協力機関からの事業支援を受けています。このコンテストは『浜松光宣言 2013』で示されている、これからの光応用産業発展の主役であるベンチャーや中小企業が活発に活動できる環境をつくる、という理念が込められた「光の先端都市 HAMAMATSU」の実現につなげるためのもので、今回で 8 回目の開催となります。

◆ファイナリストと大手製造業・VC・金融機関などとのネットワーキングをさらに強化

これまでのファイナリストへのアンケートでは、資金調達や販路開拓、事業化に向けた支援を求める声が寄せられています。このニーズに応えるため、今回は約 30 の大手製造業・VC・金融機関などのオブザーバー機関との交流・情報交換を深められるネットワーキングをさらに強化します。

最終審査会では、来場者との交流の場や、ファイナリストとオブザーバー機関等との事前マッチングを企画しています。

また、最終審査会に先立ってオンラインの交流プラットフォームを開設し、審査会前から情報交換や技術・事業への理解を深められる機会を設ける予定です。ファイナリストに加え、本学教員・メンター、オブザーバー機関、審査員等の参加を見込んでいます。さらに本学同窓生によるファイナリストへの支援も強化していく方針です。

前回の Photonics Challenge 2026 でも、ファイナリストとオブザーバー機関との交流から、技術や事業の進展につながる成果が生まれました。こうした実績を踏まえ、交流を具体的な連携や取り組みへとつなげる機会をさらに広げていきます。

◆募集対象

①ビジネス部門

スタートアップ・中小企業（日本国内に拠点のある法人または概ね1年以内に法人設立もしくは個人開業予定の方）

②学生アイデア部門

光を使った社会課題の解決アイデアを持つ小中高・高専生、大学生・院生、社会人学生（個人またはチーム）

◆スケジュール

2026年10月20日（火）より募集を開始します。12月4日（金）までに応募書類を提出された応募者には本学教員よりコメントを返し、それをもとに応募内容を調整・修正して再提出できる「プレエントリー制度」を設けています。同制度は好評で、応募者の半数程度が利用されています。エントリーの最終締め切りは2027年1月17日（日）です。書類選考を経て3月上旬にファイナリストを発表し、その後、本学教員によるメンタリングを通してビジネスプランのブラッシュアップをしていただきます。最終審査会は7月14日（水）に開催します。

◆ファイナリストへの支援

書類選考を通過したファイナリストには、以下の機会を提供します。

- ・ ビジネスプランのブラッシュアップ
- ・ オブザーバー機関（大手製造業、金融機関、VC等）とのネットワーキング（ビジネス部門）
- ・ 本学等による継続的な技術・事業化支援（ビジネス部門）

◆表彰・賞金

<ビジネス部門>

最優秀ビジネス賞 | 賞金 100 万円

主にアーリー期以降のビジネスプランが対象

最優秀チャレンジ賞 | 賞金 80 万円

主にシード期以前のビジネスプランが対象

フォトンバレーセンター賞 | 賞金 30 万円

静岡県内の企業が対象

(浜松地域イノベーション推進機構フォトンバレーセンター提供)

オブザーバー賞 | 賞金 30 万円

オブザーバー機関の投票により選出

<学生アイデア部門>

最優秀アイデア賞 | 賞金 20 万円

◆Photonics Challenge 2027 の概要

本ビジネスコンテストの概要は以下のとおりです。なお、募集要項は 2026 年 10 月 20 日（火）より本学の専用 WEB サイト（<https://www.gpi.ac.jp/challenge/>）に掲載します。

対 象 : 光技術およびその応用を通して、社会に新たな価値または変革をもたらすビジネスの創出を目指す全国のスタートアップ、中小企業および学生。

※国内に拠点のある企業や日本在住の個人かつ日本語でのピッチが可能であること。

主 催 : 光産業創成大学院大学

協 賛 : 国際光工学会（SPIE）、一般社団法人日本光学会、浜松ホトニクス株式会社、フォトンバレーセンター（浜松地域イノベーション推進機構）

提出書類 : ①応募様式（キャンパス他）②応募部門別キャンパス
(①と②は専用 WEB サイトからダウンロード)

③会社案内などの参考資料

選 考 : 書類選考、ピッチによる最終審査会

審査基準 : ①ビジョンと情熱のストーリー ②ニーズの着眼点 ③事業アイデアのインパクト
④計画の具体性 ⑤成長への志向性 ⑥光技術の活用またはその可能性

※学生アイデア部門では①②③⑥を審査基準とします。

審 査 員 : 光技術および事業化に関する有識者

オブザーバー：大手製造業、VC、金融機関など

選考日程：募集期間 2026 年 10 月 20 日（火）から 2027 年 1 月 17 日（日）

プレエントリー締切 2026 年 12 月 4 日（金）

書類選考通過者の発表 2027 年 3 月上旬頃

メンタリング期間 2027 年 3 月下旬から 2027 年 7 月上旬

最終審査会 2027 年 7 月 14 日（水）

最終審査会場：アクトシティコンgresセンター 4 階 静岡県浜松市中央区板屋町 111-1

◆浜松光宣言

静岡大学と浜松医科大学、光産業創成大学院大学、浜松ホトニクス株式会社は、2013年6月11日に「光の先端都市 HAMAMATSU」の実現に向け、共同の宣言を行いました。また、2023年6月11日には、「光科学と光応用産業の発展」「光の先端都市HAMAMATSUを新たなフェーズへ」「地域振興と持続可能な成長」「グローバルな研究・教育拠点の構築」「イノベーションと起業支援」「新たな地域文化の創造」の6項目を新たに掲げ、さらなる歩みを進めています。

<この件に関するお問い合わせ先>

■報道関係の方 浜松ホトニクス株式会社 コーポレートコミュニケーション部
TEL053-452-2141（代）

■一般の方 学校法人光産業創成大学院大学 Photonics Challenge 事務局 藤田、伊藤
TEL053-484-2501（代）